

安全性と品質を確保!

自走式案内ロボット Libra

狙いと利用シーン

公共施設等でロボットによる先導案内を実現する

- 先導案内を実現するロボットのプラットフォームとして利用(採用済)
- 案内シナリオを入れ替えて、様々なイベント会場で利用可
- 規格適合のリスクアセスメントなど、開発のノウハウを提供

特長

- 点字ブロックやスロープなど様々な走行環境に対応
- 接する人に違和感を感じさせない優しいUI&筐体デザイン
- 安全規格適合性評価取得

生活支援ロボット安全規格 ISO 13482:2014

生活支援ロボットの安全要求事項—第1部 JIS B 8446-1:2016

主な仕様・性能

- 主要センサ
3D-LiDAR、2D-LRF、超音波センサ、バンパセンサ
マイク、スピーカ、タッチパネル、魚眼カメラ
- サイズ 幅598×奥行700×高さ1050
- 重量 40kg(バッテリー込み)
- 最高速度 5km/h
- 段差乗越 6mm(点字ブロック走行可)
- 登板角度 5度
- 連続稼働5時間、耐用寿命5年を考慮
- 低温環境を想定した温湿度評価済
(-5℃での環境試験を実施)
- EMC評価済(試作機で放射EMIのClass Bを達成)



案内ロボットプロトタイプ
Libra

開発

DX推進センター

